

3R瓦版 (5月号)

負けるな!
エコさんくん
作:フジコイトウ



© 2013 フジコ イトウ All Rights Reserved.

化学物質管理 ~後編~

前回申し上げましたが、

化学物質規制が国際的に厳しくなっていますが、この化学物質規制への対応ができない企業は、市場に参入することが難しく、とりわけ製品に含有する化学物質の規制への対応が重要になっています。

対応を具体的に申し上げれば、自社製品に含有する化学物質の情報を短時間に効率的に把握し、その情報をお客様に提供することです。また、もし何か変化が生じるのであれば、事前に十分な時間を持って情報を提供する事も必要です。

しかしながら、自社製品の含有する化学物質の情報は、自社のみの努力だけでは把握が出来ないことも事実なのです。

製品の流れを川に例えると、川上である素材メーカーは、化学物質の管理及び情報の伝達が必要となります。川中である部品加工メーカーは、化学物質の管理や化学物質の変化後の情報の伝達が必要となります。流通業者は、これらの化学物質情報の正確な伝達が必要となります。最後に川下である製品メーカーは、それらを取りまとめ、各国の法令に順守していることを確認することが必要となります。

このように安全な製品を顧客に供給する（各国の法令を順守する）には、すべてのサプライチェーンによる「川の流るるような♪」協力が必要となります。

RepairFactory (有)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-66-6254

 株式会社 立花エレクトック

株式会社立花エレクトック 品質・安全環境管理室

せりかわしげお
羅川 繁夫